

# Jリーグ参入を目指すFC大阪 東大阪市をホームタウンに



▲試合風景 (写真左) / 布施戎神社での集合写真 (写真右上) /  
街の駅 クレアホール・ふせ前の「FC大阪 東大阪オフィス」 (写真右下)

Jリーグ参入を目指すサッカーJFLのFC大阪は、昨年11月、東大阪市からホームタウンの承認を受けた。本年、1月17日に東大阪市とスポーツを通じたまちづくりに関する連携協定を締結。今後は市民のスポーツに対する興味・関心の向上や、スポーツを通じた地域交流、市の魅力並びにスポーツに関する情報発信、市民の健康増進を柱に活動していく。

同クラブは3月2日、東大阪オフィスをクリアホール・ふせ（東大阪市足代北2）向いに開設。グッズ販売、公式戦のライブ発信など、情報発信の場として活用していく。今後は商店街とも連携して、提携店を利用すれば会員特典やクラブオリジナルグッズが手に入るなど様々なサービスを設け、商店街を活気づけていく。

3月17日、ホームタウン認定後、初の公式戦となる開幕戦（於J・GREEN堺）に東大阪市民を無料招待。当日は雨にも関わらず約280名の市民が来場した。5月にはホームタウンである本市での試合も開催予定。「これから多くの方にFC大阪の試合を観戦してもらいたい。今後の目標はチームの成績を上げ、Jリーグ入りを果たすこと。同時にサッカー、スポーツを通じて東大阪市の地域、経済の活性化に繋がれば。来年は東大阪市の試合を増やし滞留人口を増やしていきたい」と疋田社長は語る。